



ながはた

# 長畑ひろのり News

e-mail: sky@nagahata.jp · HP: http://nagahata.jp · phone: 072-878-3205 · fax: 072-877-1194

発行: 2010.03.01

市政報告 03月号

vol.033



## 市政報告会のお知らせ

ぐら〜と  
お気軽に

ご参加下さい 3月30日(火) 19時30分~

四條畷市 市民総合センター 3階 会議室4

### 「国際友好都市提携」について

市長は、昨年の3月議会において発表した「平成21年度市政運営方針」の中で、財政の健全化に重点を置くこと、また、より透明度の高い市政の運営を述べた中で、国際的な文化交流等を図るため海外都市との姉妹都市締結に向けて検討を進めると述べられました。

この件に関し、私の所属する会派(市民連合)は「簡単に考えてはいけない、検討するなら全てを情報公開し議会でも議論することが必要」と質問しました。

それに対し、田中市長は「相手先とのきっかけや繋がり及び相互理解が必要。それに予算が伴うことから、市民の皆様並びに議会に対し交流の目的を明らかにするとともに、情報を積極的に提供し、市民の皆様の納得が頂けるように取り組みを進めてまいります」と答弁されました。

しかし、先月18日に行われた議会全員協議会において、この3月議会の予算が通れば決定するまでに煮詰まった国際友好都市提携についての説明が行われました(右枠内参照)。また、国際友好都市提携事業に係る費用の説明もありました。

#### ① 協議・手続時の予算について(特別職1名・管理職2名)

|     |            |
|-----|------------|
| 報償費 | 14,000円    |
| 旅費  | 499,247円   |
| 需要費 | 40,000円    |
| 役務費 | 620,000円   |
| 合計  | 1,173,247円 |

#### ② 提携時の予算について(メアブッシュ市が来市と想定)

|     |            |
|-----|------------|
| 報償費 | 14,000円    |
| 使用料 | 80,000円    |
| 需要費 | 282,000円   |
| 役務費 | 1,020,000円 |
| 旅費  | 20,000円    |
| 合計  | 1,416,000円 |

#### 国際友好都市提携候補地の選考理由

- 1) 都市名 メアブッシュ市(ドイツ)
- 2) 選考理由 ・本市の市制40周年とメアブッシュ市の市誕生40周年が同一年である。・人口規模がほぼ同じ、地域の3分の2が緑に囲まれている。・環境面等先進的であり、参考となることが多い。・相手先も提携を望んでおり、対等な交流の可能性が高い。・市域に1,000人を超す日本人が在住し、日本企業が所在しており、今後の交流にあたって各種事業への参加、協力が期待できる。

#### 3) ドイツメアブッシュ市について

第1言語がドイツ語、第2言語が英語である。

日本標準時との時差△8時間、サマータイム時△7時間

#### 今後の方針

国際友好都市提携準備委員会から提出された報告書に基づき、提携に向けての準備手続きを進める。予算の承認後、相手都市と具体的な交流事業の内容などの調整を進める。

#### ③ 提携後の予算について(現段階では全くの未確定)

|     |          |
|-----|----------|
| 報償費 | 750,000円 |
| 役務費 | 30,000円  |
| 旅費  | 10,000円  |
| 需要費 | 20,000円  |
| 合計  | 810,000円 |

訪問における慣例で、基本的に訪問する自治体側が訪問に係る経費をすべて自己負担する形式のため、②ではメアブッシュ市の旅費・宿泊代等は含まれていませんが、提携時に本市がメアブッシュ市へ行くとなると予算も変わってきます。

国際友好都市提携には多くの予算がかかります。これで財政の健全化に重点を置いていると言えるのでしょうか?決定に至るまでの情報提供は積極的だったのでしょうか?それでも交流の目的が市民の納得できるものであれば救われますが、この3月議会において質問し次号にて報告させていただきます。

# 「市職員の労働コスト」について

民間シンクタンクの財団法人関西社会経済研究所が全国の自治体780市の行政サービスの生産性ランキングを2月3日に発表しました。新聞に入力ミスがあった記事が掲載されたりもしましたが、修正も終わっていましたので安心して一部引用し報告します。項目もいろいろとあるのですが、この号では労働コストについてです。

本市においても歳出のもっとも中心である人件費、つまり労働コストについてですが、(財)関西社会経済研究所は、人件費が高いのは①職員数が多いのか、②給与水準が高いのか、③その両方なのか、を検証し順位をつけられています。

- ・対象とした労働コストについては、①給料、②地域手当や通勤手当などの諸手当、③期末手当、④勤勉手当とした。
- ・労働コストについては各自自治体の努力の及ばない要因(非裁量要因)を調整した「職員数」と「給与水準」の積とした。
- ・給与水準が高くて、職員数が少なければ労働コストは標準労働コストよりも小さくなる可能性がある。

給与水準の非裁量要因については、平均年齢が最も低い山口県美祢市の37、8歳と最も高い大阪府守口市の49、2歳との違いなども考慮されています。また、職員数の非裁量要因には、職員数は人口規模が大きくなるにつれて減少し、約63万人の人口規模で最低になり、その後増加に転じる等もあつたり、可住地面積が大きくなるにつれ支所の数を増やさなければならぬ等、順位をだすのも苦労されています。

| 市   | 平均給与<br>順位 | 職員数<br>順位 | 労働コスト |       | グル<br>ープ |    |
|-----|------------|-----------|-------|-------|----------|----|
|     |            |           | 順位    | 労働コスト |          |    |
| 都市  | 四條畷市       | 232       | 241   | 247   | 22,302円  | I  |
|     | 大東市        | 354       | 486   | 452   | 25,840円  | V  |
|     | 交野市        | 629       | 170   | 285   | 22,909円  | II |
|     | 守口市        | 585       | 770   | 727   | 33,767円  | VI |
|     | 門真市        | 566       | 737   | 672   | 30,980円  | VI |
| 特例市 | 寝屋川市       | 355       | 764   | 686   | 31,408円  | V  |
|     | 枚方市        | 615       | 648   | 592   | 28,839円  | VI |

上記表右のグループ分けですが、以下で区分しています。労働コストが標準労働コストより少ない

I 給与≤平均値 職員数≤平均値 (← 四條畷市)

II 給与>平均値だが、職員数が少ない (← 交野市)

労働コストが標準労働コストより多い

V 職員数>平均値 給与水準は平均値よりも低い、標準労働コスト以下に抑えるほど低くない (← 大東・寝)

VI 給与>平均値 職員数>平均値 (← 守口・門真・枚方)

# 「町立四條畷病院」について2

私のNews vol.27号にて報告しました町立四條畷病院の件です。その後、市民の方に貸していただいた四條畷町の広報誌を読みますと、昭和42年9月10日号に町長による病院廃止の状況が掲載された記事を見つけました。そこで、以下に添付させていただきます。文章より感じるのは、現代に起こっている医師不足の問題がすでに起こっていたこと。つまり、国の責任において解決していなければならなかった問題が、40年以上ほったらかされてきたと思えて仕方がありません。

四條畷病院に関しまして日頃皆さんから種々ご支援とご指導とを賜って参りましたことを厚く御礼を申し上げます。深夜急患があつてこの病院へ電話をしても通じなかったが、四條畷病院は都合よく通じ手当てを受けることができて安心したと言う方があるかと思つと、病院へ行つたが事務員の言葉づかいが悪いか、態度がよくないなど、色々のお叱りや何回も受けて参りました。今まで病院の話がでると〇〇科の医者が不足しているとか、院内のサービスが行届いていないなどと小言がつきものでした。

病院へ行つたところが非常にいいのに診察をしてもらつて喜んでるという方もときどき聞くのであるが、こんな場合あたりまえのことと思つて居られるのであつるか。余談はさておきわれわれ病院の関係者は一番大切な医師の確保につき当初から力をつくしてききました。大学の医局もこの点には十分に協力をされ相談ののつてくれましたが、ここ三、四年程前から医師の確保が次第に

困難になってきました。特に外科については、折角病院になつて、その上患者にもうけがよくなつて来たと思つたがたん近くで開業する場合は生じたり、又医局から医師を呼びもどす場合も生じて来ました。困つた傾向になつたことと思つてい

るやさきに、新聞紙上でご承知の通り大学のインターン制に端を発して国家試験をボイコットするなどの事件があり、大学の卒業生があつても医者としての国家試験を受けないこと……これは大きな国の責任ではあります。医局自体がわれわれの病院に響いてきました。医局自体がすでに医者に不足して来たのでありますから病院にこの影響が深刻にあらわれて参つたのも当然のことです。この結果毎月相当額の赤字が生じて来る上に適当な医師の確保に非常に困難性が増大して参りました。われわれは如何に困難なことでも住民の皆様健康と幸福のためには決して努力を惜しむものではありませぬ。ひるがえって近隣の市町をみます時に数年も前から病院を閉鎖して居ります。当町は今日まで運営上財政上種々努力に努力を重ねて継続して参りましたがこの上

続け参りますことは却つて住民の皆様にご迷惑をかけることに相なりますので先ず町会議員諸君に因り当町議会に於いて廃止することに議決されました。尚今後の対策として入院患者についてはよく相談の上適当な病院に入院をして頂くこと、救急車設置などについてもよく考え急患の場合の措置など医師会とも充分相談の上決定事項を一般に知って頂くこと、当病院は九月三十日までで閉鎖をしますが、その後は議会ともよく相談してできる限り早く、時代に適合した新しい総合病院として経営する方にゆずりたいと思つています。要は住民の皆様が安心して頂く方向に少しでも早くもつて参りたい念願でありま

町長

## 四條畷病院について